

2019年12月18日

 東京ベイシティ交通株式会社

一バス接近情報のさらなる精度向上に向けて一 路線バス・コミュニティバス全車両「バスロケーションシステム」 みちびき(準天頂衛星システム) 対応型車載機器へ更新

東京ベイシティ交通(本社:千葉県浦安市、社長:多田和義)では、2018年4月より運用を開始している路線バス・コミュニティバス(おさんぽバス)の「バスロケーションシステム」において、より精度の高いバス接近情報をご案内するため、全車両に搭載しているGPS通信車載機を「みちびき(準天頂衛星システム)対応型車載機」に更新しました。

みちびき(準天頂衛星システム)を利用した高精度測位によって、バスの運行位置、走行速度、渋滞に関するデータが正確に把握できます。これにより、当社バスロケーションシステムのスマホアプリ(「もくいく」・「PINA」)及び停留所接近表示器において、バスの接近情報や遅れ状況等を一層正確に表示・提供が可能となり、お客様の利便性が高まります。



拡大



1. バス接近案内表示器設置箇所

(1) 既設の表示器

○ 新浦安駅	おさんぽバス・A・B・C・D・E・F・Hのりば	8 基
○ 新浦安駅北口	J・Kのりば	2 基
○ 浦安市役所	おさんぽバスのりば	1 基
○ 浦安駅入口	A・B・Dのりば	3 基
○ 東海大浦安高校前	⑤②④⑥系統のりば	2 基
○ サンコーポ西口	往復のりば	2 基
○ サンコーポ東口	往復のりば	2 基
○ 順天堂病院前	往復のりば	2 基
○ 美浜東団地	浦安駅方向のりば	1 基
○ 海楽	新浦安駅方向のりば	1 基

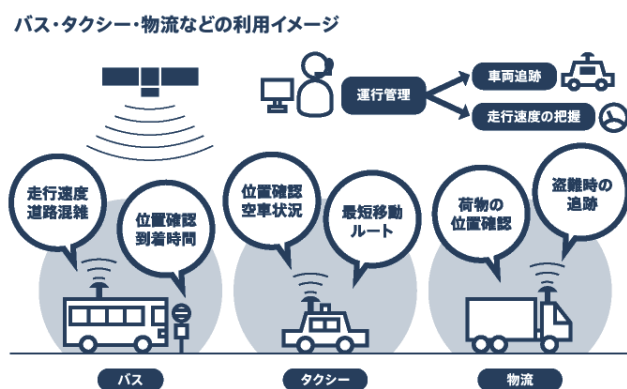
(2) 2020年3月増設予定(2020年春より運用開始)

● 海楽	浦安駅方向のりば	1 基
● 消防本部前	浦安駅方向のりば	1 基

2. みちびき(準天頂衛星システム)について

みちびき(準天頂衛星システム)とは、準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システムのことで、英語ではQZSS(Quasi-Zenith Satellite System)と表記します。衛星測位システムとは、衛星からの電波によって位置情報を計算するシステムのことで、米国のGPSがよく知られており、みちびきを日本版GPSと呼ぶこともあります。

2018年11月から、みちびきは4機体制で運用を開始しており、このうち3機はアジア・オセアニア地域の各地点では常時見ることができます。みちびきはGPSと一体で利用できるため、安定した高精度測位を行うことを可能とする衛星数を確保することができます。



(一部出典：内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システムより)

お問合せ先 **東京ベィンティ交通株式会社**

電話 047-352-2111

以上